



上 学



No. 11 2月発行

文責 早川 大介【校長】

令和7年度重点目標

未来につなげる力の育成 ～ONE TEAMで子供たちの可能性を伸ばす教育～

結びの時、そして次のステージへ

厳しい寒さの中にも、どこか光のやわらかさを感じる雪どけの季節となりました。2月は、一年の中でも最も短い月ですが、実は「次への準備」をする、とても大切な時間です。

さて、本校が掲げる重点目標「未来につなげる力の育成」は、特別な行事や目に見える成果の中だけで育まれるものではありません。日々の授業で仲間と考えを交流させる時間、自分の思いを言葉にして伝えようとする姿、互いの違いを認め合いながらよりよい答えを探る過程、行事に向けて心を一つにする経験、そして失敗や迷いの中から学び直そうとする粘り強さ—その一つ一つの積み重ねが、子供たちの内側に確かな力として蓄えられていきます。目立たなくとも、静かに根を張り、積み上げられた努力こそが未来を切り拓く土台となります。

今の学年で過ごす日々も残りわずかとなりました。この一年を振り返ると、子供たちはそれぞれの歩幅で着実に成長してきました。できるようになったことの背景には、うまくいかない経験や葛藤を乗り越えてきた過程があります。挑戦の途中にあることも決して未完成ではなく、成長の中にある証です。「あきらめずに取り組む姿勢」「仲間を思いやる心」「自分の役割を果たそうとする責任感」こうした力は、これから先どのような社会にあっても揺るがない支えとなるはずです。子供たちの真摯な姿から、私は日々その確かな芽生えを感じています。

本校は義務教育学校として4月に2年目を迎えます。9年間の学びのつながりを見通しながら、教職員が一体となって子供たちの成長を支えています。子供たちが互いに学び合い、高め合う存在であるように、私たち教職員もまた学び続け、よりよい教育の在り方を問い続けてまいります。同じ目標に向かい、ともに歩む学校であること。その歩みの確かさが、子供たちの安心と挑戦を支える基盤になると信じています。

週明けは、いよいよ3月。今年度を締めくくる最後の月を迎えます。3月は、これまでの歩みを確かな自信へと変え、次の学年へと力強くつなぐ大切な時間です。一人一人が自らの成長を実感し、支えてくれた仲間や周囲の人々への感謝の気持ちを胸に、新たな目標をもって前へ進んでほしいと願っています。これまで積み重ねてきた努力は、必ずや次のステージへの大きな礎となります。春の訪れとともに、子供たちが希望を抱き、晴れやかな気持ちで新しい一歩を踏み出せるよう、学校全体で心を一つにして3月の教育活動を充実させてまいります。

後期学校評価アンケートへの協力、ありがとうございました 次年度に向け、学校評価を学校改善に活かします

先月に実施した学校評価アンケートについて、ご多用の中ご協力いただき、貴重なご意見を多数賜りました。深く感謝申し上げます。結果について下記のとおり分析を行い、今後の教育活動の改善に活かしてまいります。今後も変わらぬご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※各項目とも上段が前期の結果、下段が後期の結果です。

アンケート項目	児童	生徒	保護者	教職員	後期の結果を受けての改善策
1 学校の授業はよくわかる	4.3	4.2	3.9	4.2	学級通信で行事の取組や写真を載せるだけでなく、授業の様子や授業の成果も伝え、日常の学習の様子を知ってもらう取組を変わず継続する。さらに児童生徒のわからなさを大切にしながら、授業改善を続ける。
	4.3	4.3	3.8	4.1	
2 授業を受けていて「面白い」と感じたり、「もっと学びたい」と思ったりする。	4.1	4.1	3.8	4.2	児童生徒が夢中で学ぶような課題づくりなど、授業の工夫を重ねていく。
	4.2	3.9	4.5	4.1	
3 授業を振り返り、次の授業や家庭学習に生かそうとしている。	3.7	3.6	3.7	3.9	成果や課題、新たな疑問など学びを振り返る時間を確保し、それらを『家庭学習で取り組む具体策』へと変えていく指導を行う。
	4.0	3.5	3.6	3.8	
4 家庭学習や宿題を決められた時間している。	3.7	3.0	3.6	3.9	家庭学習の取り組み方を伝える。「もっと学びたい」と思わせるような授業づくりをする。
	3.8	3.0	3.7	3.9	
5「学習の決まり」を守り、落ち着いて授業を受けている	4.1	3.9	4.0	4.3	おおむね落ち着いているが、特定の学年の数値が低いので、その様子については子どもたちの姿をよく見て、要因を探る。
	4.3	3.8	4.0	4.0	
6 元よくあいさつをしている。	4.2	4.2	4.0	4.0	教員からの指導も大切だが、児童生徒間であいさつの大切さが浸透していくことがもっとも効果的であるように感じる。委員会等の児童生徒が主体となる取り組みも大切にす。
	4.3	4.0	4.1	4.2	
7 学校のきまりを守って生活をしている。	4.3	4.3	3.8	4.4	発達段階や個別の事情に配慮しながら、担任など特定の教職員だけでなく、教職員集団全体で児童生徒への指導や関わる場面を増やしていく。
	4.4	4.4	4.1	4.4	
8 先生たちは、自分の気持ちを受け止めてくれている。	4.4	4.2	4.3	4.5	各行事等の初年度の不十分さや、保護者と話をする機会が減っていることも一つの要因と考えられる。学級懇談や二者面談だけでなく、日ごろから保護者との情報共有や連携を深めていく。
	4.4	4.4	4.1	4.6	
9 先生たちは、いじめや暴力などがおきないようにしてくれる。	4.7	4.5	4.3	4.5	今後も継続して取り組んでいく。
	4.7	4.6	4.2	4.5	
10 いろいろなことに、自分から進んで行動している。	4.0	3.8	4.0	4.2	行事や委員会活動を中心に、学校生活の中で自ら進んで何かに取り組む場面や、自己決定の機会を増やす。本来、小学校で最高学年の6年生に活躍の場を広げられるようにしていく。
	4.1	3.8	3.9	4.1	
11 他の人に思いやりをもって、やさしくしている。	4.3	4.1	4.0	4.3	これからも教職員からの働きかけや児童生徒間のつながりを中心に、思いやりの心を育てていく。
	4.4	4.1	4.2	4.3	
12 事故のないように、安全に生活することを心がけている。	4.5	4.4	4.0	4.3	教職員で協力し、路線バスやスクールバス、自転車の乗り方について行っている指導を継続していく。最終的には児童生徒が自立できることを目指していく。
	4.5	4.2	4.0	4.4	
13 元気に体を動かしている	4.2	4.2	3.8	3.7	今までの小規模の学校でできていたことが、人数が増えたことにより制限させられているものと考えられる。全体的に運動できる機会は増やしているが、何か手軽に運動できるようなものを検討したい。
	4.4	4.0	3.7	3.7	
14 先生たちは、親切・丁寧にしてくれる。	4.6	4.7	4.5	4.4	今後も継続して取り組んでいく。また、今後も行事の連絡等、細やかにできるようにしていく。
	4.6	4.7	4.4	4.5	
15 ゲーム機や携帯電話を時間を決めて使っている。	3.6	3.0	3.2	3.6	保護者の方への働きかけをすとともに、学校としても自律を促すような働きかけを、道徳・学活などの授業を通して行う。
	3.6	2.9	3.3	3.8	
16 iPadを学習や学校生活に活かすことができている。	4.3	4.6	4.2	4.1	低学年の活用方法の具体化をする。また、操作に苦手意識がある児童生徒の困り感を吸い出し、さらに活用できるようにする。
	4.4	4.4	4.2	4.2	
平均値	4.2	4.0	3.9	4.1	赤は85%(4.25)以上 青は70%(3.5)以下 各項目とも上段が前期の結果、下段が後期の結果である。
	4.2	4.0	4.0	4.1	

保護者アンケート記述欄 ※類似の内容についてはまとめてあります。

子供たちのことを真剣に考え、より良くなるようにいただいた意見に、心から感謝いたします。

上湧別学園の児童生徒のよいところ

- ・元気で活発。元気いっぱい。(複数)
- ・真っ直ぐで素直。(複数)
- ・運動会や学園祭などで一丸となって協力し、練習から真剣に取り組む姿が素晴らしい。
- ・部活動を頑張っている。
- ・問題があった時にもしっかりと向き合って考えられるところ
- ・何事にも真剣で前向きに取り組むところ。
- ・なかなか教室に入れない子に優しく接し、受け入れるようにしているところ。
- ・挨拶をしたら、挨拶を返してくれる子が多い。
- ・後期の子はみんな元気で知らない子も挨拶をしてくれる
- ・顔見知りの子は元気に挨拶や会話を積極的にしてくれる。(前期)
- ・学年を越えての活動があり、異年齢をお互いに大切にしているところ。
- ・学年、性別関係なく仲良くできるところ。(複数)
- ・前期から後期にかけての異年齢の関わりやつながりが持てているところ。
- ・上級生が優しい。(複数)

上湧別学園の児童生徒のもっと頑張るところ

- ・いろいろなことに挑戦して楽しんでほしい。
- ・深い探究心 その成果のアウトプット、プレゼンテーション力を身につけてほしい。
- ・元気に挨拶
- ・メリハリと向上心
- ・タブレットやゲームだけでなく、本を読むことも頑張ってみてほしい。デジタル画面より目が悪くならなかったり、自然と漢字を覚えたりと、色々な面で良いことが増えると思う。
- ・今も頑張っていると思うが、さらに、笑顔、挑戦する意欲、認める、発信、力を合わせる姿を見てみたい。
- ・主体性
- ・大人に対しての言動、子ども同士の言動
- ・全員ではないが、お友達の嫌がることはしないでほしいと感じることが多々ある。
- ・相手を思った言葉の使い方、言い方
- ・友達の良いところを見つけ認めていける人間関係。
- ・学習
- ・ルールや約束を守ること
- ・他の人の気持ちや意見も尊重できるようになってほしい

意見

○行事に関すること

- ・運動会や学園祭時、写真屋さんによる撮影をお願いしたい。運動会は前期と後期に兄弟がいる家庭は観覧が大変。移動が少なく両方見られるように企画していただくと有難い。
- ・今年遠足がなかったのはどうしてなのか。中小の時は去年やっと4年ぶりに復活し喜んでいたのに、なぜ上學になるとやらなくなったのか。子供達は早くから遠足のお菓子の話や場所はどこになるんだろうと話していた。遠足は子供にとって思い出に残る大切な行事だと思うので、来年は検討していただきたい。

○学校生活に関すること

- ・学校で訳の解らないルールが増えている。先生方もルールが増えすぎて把握できない様子がある。先生の過

ごしやすい学校ではなく学園の児童生徒が過ごしやすいつか行きたいと思える学園にしてほしい。

- ・得意とする児童生徒以外は置き去りにする授業ではなく、理解していない児童生徒も大切にする授業を行ってほしい。発言にも気をつけ、安心して子ども預けられる学校にしてほしい。

○その他

- ・お忙しい中、子ども達のことを丁寧にみていただき嬉しく、安心しております。いつもありがとうございます。
- ・いつも子どもたちに寄り添った指導をしていただき感謝しています。学校も部活も楽しく過ごすことができます。ありがとうございます。
- ・先生方の日々のご指導で学校生活、部活が充実しています。ありがとうございます。
- ・いつも親身になって対応していただきありがとうございます。 など複数

3月

日	曜	学 校 行 事	
		前期課程	後期課程
1	日		
2	月	フッ化物洗口	フッ化物洗口
3	火	分掌会議	分掌会議
4	水		公立高校学力検査
5	木	在校生式練習 研修日	公立高校面接検査 研修日
6	金		在校生式練習
7	土	金管バンド定期演奏会	
8	日		
9	月	フッ化物洗口 9年生を送る会	フッ化物洗口 9年生を送る会
10	火	各種委員会、英検 Jr 在校生式練習、SC 来校	各種委員会 在校生式練習、SC 来校
11	水	在校生式練習、英検 Jr	公立高校追検査日 在校生式練習、9年大掃除
12	木	卒業式総練習 卒業式前日準備	卒業式総練習 卒業式前日準備
13	金	卒業証書授与式	卒業証書授与式
14	土		
15	日		
16	月	フッ化物洗口 職員会議	フッ化物洗口 職員会議
17	火	新年度計画会議①	新年度計画会議① 公立高校合格発表
18	水	新年度計画会議②	新年度計画会議②
19	木		
20	金	春分の日	春分の日
21	土		
22	日		
23	月	フッ化物洗口 大掃除	フッ化物洗口 大掃除
24	火	修了式・離任式	修了式・離任式
25	水	学年末休業（～31日）	学年末休業（～31日）
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

